

2025年度の主な事業

4月23日(水)	万博「ウーマンズパビリオン」トークイベント・万博視察ツアー
5月13日(火)	懇親事業 歌舞伎鑑賞会・昼食懇親会
5月20日(火)	【大阪府女性会連合会】2025年度総会・講演会
6月 5日(木)	【関西女性会連合会】武生大会
6月10日(火)	京都女性会・大阪女性会との交流会～万博視察ツアー～
6月26日(木)	2025年度通常総会
10月10日(金)	【全国女性会連合会】全国大会
10月16日(木)	経営事例発表会
10月29日(水)～30日(木)	視察研修会
10月	【大阪府女性会連合会】理事会
2026年1月	新年互礼会
2月	経営事例発表会
	【大阪府女性会連合会】研修・交流会
3月	【関西女性会連合会】理事会&会長会議

Vol.52 2025年 春号

ジニア（百日草）花言葉：「絆」「いつまでも変わらぬ心」

大商女性会新年互礼会

2025年1月24日 帝国ホテル大阪「エンパイアルーム」

大商女性会新年互礼会は、2025年1月24日、帝国ホテル大阪3階「エンパイアルーム」にて、会員111名が集まり盛大に開催されました。

田村節子副会長の司会のもと、久保田光恵会長による開会のご挨拶で幕を開け、大阪商工会議所鳥井信吾会頭から「2025年は万博イヤー、大阪を盛り上げていこう」との乾杯のご発声を頂きました。

その後会席料理に舌鼓。毎年楽しみにしているアトラクションは、歌と三味線演奏の中野聖子様、歌とピアノ演奏山内詩子様、フルート演奏重政有紀様の3名の方々による沖縄民謡などを披露していただきました。素晴らしい演奏と歌に、私達も手拍子と共に口ずさみ楽しい時間を過ごしました。

2025年の初顔合わせは、参加者同士の交流を深める場にふさわしい活気にあふれた華やかな大商女性会新年互礼会となりました。

（株式会社インフォメーションプラスティ 代表取締役 宮田 薫）



新人同期会

2025年3月19日 クロ・ド・マリアージュ



2025年3月19日に、クロ・ド・マリアージュにて49名が集い新人同期会を開催いたしました。

会の冒頭、新入会員の皆さんに自己紹介をしていただきました。様々な業種の方のお話を伺うことができ、とても興味深く今後一緒に活動していくことが大変楽しみです。

またレストランのオーナーシェフ黒岩様からユニバーサル事業についてご講話いただきました。「レストラン」という言葉は本来「回復させる場所」という意味があるそうで、働く人、訪れる人の生きる喜びを再生する、障がい者を雇用し、食を通じて多様性と共に生きるという事を大切にレストランを運営されています。

（幹事：組織委員会）



トークイベント・万博視察

2025年4月23日

4月23日、トークイベント・万博視察に38名が参加しました。はじめに、ウーマンズパビリオンの見学と女性会のトークイベントを開催しました。その後、海外パビリオンのイギリス館とコモンズDの見学、レストランでの夕食懇親会、水上ショー見学と盛りだくさんな1日となりました。

メインとなった大商女性会主催のトークイベントは「これからの企業経営と女性を考える」と題し、ウーマンズパビリオンのイベントスペース「WA」で開催されました。坂東嘉子参与の司会、久保田光恵会長の挨拶で開会し、女性会会員3名による事例発表がありました。

一人目は株式会社ロイヤルホテル常務執行役員中川智子様、二人目は株式会社ハマキャスト代表取締役濱中陽子様、三人目は株式会社Terrace代表取締役森田祥子様でした。それぞれ女性経営者ならではの視点、苦労、挑戦、展望などをエネルギーに発表なさいました。



続いて、廣瀬恭子顧問をコーディネーターにパネルディスカッションが行われました。事例発表の3名に加えて、英国総領事で大阪・関西万博英国政府代表キャロリン・デービッドソン様と神戸・大阪ドイツ連邦総領事メラニー・ザクシンガー様が参加されました。海外から見た女性経営者の環境、日本と海外の比較など有意義な意見交換がありました。

参加者からの質疑応答、廣瀬顧問によるまとめがあり、田村節子副会長の挨拶で閉会となりました。大阪商工会議所会頭鳥井信吾様、京都商工会議所女性会役員の皆様もかけ駆けつけて下さり、一般の方やオンラインでの参加もあって、大変盛況なトークイベントとなりました。

(株式会社エイトオブティク 開高 みどり)



大阪府商工会議所女性会連合会 研修交流会

2025年2月19日 ホテルニューオータニ

2025年2月5日（水）ホテルニューオータニにて大阪府商工会議所女性会連合会 研修交流会が府下15女性会133名の仲間が集まり開催されました。久保田会長の開会の挨拶の後、地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター総長の倉智博久様に「企業的女性リーダーの皆さまにも知っていただきたい女性のヘルスケア」と題しご講和を頂きました。

倉智先生のととてもお優しい人柄を感じる講義でした。まず、現代社会において、女性が社会に出ることは必然であり、女性特有の変調を社会が理解しなければならないということです。更年期・更年期・更年期と女性は年代ごとに違うホルモンによる変化が起こります。

まず月経周期による女性ホルモンの変動で74%もの人が不調を感じ、女性の不調による労働意欲の低下などで年間5000億円もの労働損失があるという経済産業省のデータがあるそうです。また現代の女性は出産の回数が減ったことにより、生涯の月経回数が約三倍に増加し、すなわち働く女性の毎月訪れる不調の回数も増加していて、まさに現在の労働損失による経済的負担の増加の起因になっているそうです。女性社員を抱える我々経営者にとっては驚きの数字ではないでしょうか。OC（ピル）の服用はさまざまな月経随伴症状を改善でき、仕事の効率・社会活動・人間関係を改善するのに役立つとのことでした。



また、更年期になると女性ホルモンの低下で骨粗しょう症の有病率が上がり、転倒・骨折により女性の要介護期間は男性より長期化するようです。閉経後は内臓脂肪型肥満が増え、ひいては高血圧・脂質異常症・高血糖など合併症の危険性が高まるそうです。女性リーダーにとっても何より大切な健康。はつらつと100%の力を発揮でき、幸せな人生を送る為にも、自分自身のカラダと向き合うことが大切だと改めて感じました。

(株式会社大幸産業 中島 緑)





『経営を支えて半世紀、そして3度目の事業再構築に挑む』



株式会社ドウ・ワン・ソーイング
代表取締役
土井 玲子 様

●経営の軌跡と未来への挑戦

株式会社ドウ・ワン・ソーイングの歩みは、1952年に創業者・土井よしみ氏がミシン縫製技術の職人として事業を開始したことから始まる。1980年、現在の代表が土井縫工所に入社し、1982年に法人化。1992年には専務取締役管理本部長に就任し、経営の改革を推し進めた。

●経営の変遷と挑戦

経済環境の変化に対応しながら、組織の拡大と品質向上を進めた。第一次事業再構築では、生地の手入れから縫製・納品までを一貫して行う体制を構築。スローガン「First, do, have it, do, beautiful」のもと、納期厳守を重視しながら成長を続けた。

品質管理の強化にも注力し、社内でグループを作り、特性要因図などの品質管理手法を学ぶ環境を整備。毎年成果発表大会を開催し、優勝グループには賞金を授与するなど、従業員のモチベーション向上にも努めた。

●生産体制の変革と販売戦略

1990年には工場を大阪市内から岡山県玉野市に移転。従業員は50人から130人へと増加し、高級オーダーシャツの小ロット生産に対応するため、TSS生産ラインを導入した。さらに、クイックデリバリー車を活用したオーダーシャツの直接販売を開始し、多くのメディアの注目を集めた。

●経済危機とその克服

バブル崩壊の影響で取引先の倒産が相次ぎ、多額の負債を抱えるも、助成金や補助金を活用しながら経営を維持。小売業とのネットワーク構築に苦労しつつも、「売掛金ゼロ、在庫ゼロ、未回収ゼロ」の目標を掲げ、オーダー受注生産システムを確立。アパレルCADを活用し、短期間での納品を可能にした。

●未来への展望

2003年に繊維製造業者自立支援の採択を受け、2010年には大田シャツの生産を岡山工場で開始。2023年には事業再構築補助金の採択を受け、さらなる改革に挑んでいる。新型コロナウイルスの影響でビジネスウェアの需要が減少するなか、100年企業を目指し、柔軟に対応している。

経営の心得として「変化に素早く対応する」「自社の強みを活かす」「諦めずにやりきる」ことを掲げ、今後も事業の継続と成長を追求していく。

(株式会社さわらび 代表取締役 吉田 翠)



『夢の途中』



有限会社エヌティディ
代表取締役
相澤 正子 様

短大ご卒業後、旅行会社や郵政関係の外郭団体に入社され、会社員をなさっておられた相澤様ですが、若い頃からお自身で「何かしたい」というお気持ちを強くお持ちだったとのこと。

当時の旅行会社でのお仕事は、現在のようにインターネットは普及しておらず、旅行の手配は旅行会社へ行くのが普通の時代で、バブル景気もあって、お忙しく毎日を過ごされるが、どんなに大きな数字をあげてもお給料は大して上がらず、この会社で働き続けることの限界も感じられる。

当時は、女性が働き続けることや、特に資格もなく定年まで勤めあげることが難しい時代。30歳で、改めて外郭団体に入社され、50歳の時に、高年齢者雇用安定法という法律ができたおかげで、60歳定年後も65歳まで希望すれば働けるという法律ができたことにより、65歳からはご自身で好きなことをしようと思われていたところ、2019年の暮れに、有限会社エヌティディ様から後継者募集の話が舞い込む。

2020年6月に退職され、57歳で入社される。先代社長は70歳での引退を決めておられ、ご家族や社内にも後継者が見当たらず、外部でどなたか事業を継いでくれる人がいないかと探しておられたところ、こちらの会社で働いておられた相澤様のご友人が、相澤様が若い頃からお自身でお仕事をされたい、ということ覚えてくださっていたことから、お話をお持ちになられたとお聞きする。最初に先代社長との面接、その後、社員の方との面接があり、社員様全員からのご快諾のうえ、ご事業を継続されるということで入社され、2021年1月からご事業を引き継がれている。電話代行サービスとは、契約の会社様の社員になりきって、お電話を受け、担当者にもメールなどで連絡を入れるという、電話口におられる、お顔の見えないお客様への正確できめ細やかなサービスが求められるお仕事になる。最大の商品は「人」とおっしゃる相澤様。社員さんのモチベーションを上げるべく、夏の暑い日にはブドウや鰻を配られたり、女性の多い職場での有給休暇を整備されたり、制服の廃止など、合理的な改革に着手されている。

若い頃に抱かれた、ご自身で何かしたいという思いは叶い、目下、夢の途中の相澤様。社員の皆さまとともに、AIに負けないように頑張る、をモットーに次はどのような夢に向かっていかれるか楽しみです。

(有限会社オフィス長谷裕代 代表取締役 坂本 みさ)

新入会員ご紹介

2024年4月
～2025年3月



La Peche
森 登志



(株)S & S
末長 さとみ



ANA あきんど
松井 規代



(株)jp.yukino
越野 有希乃



信和産業(株)
本谷 たき子



南海電気鉄道(株)
桐山 朋子



(株)マスコール
境 順子



(株)Ferna
樋口 早苗



(株)大阪建物管理
前田 由香利



(株)コン・ミエール財務会計
赤松 祐光



フロコリアル・ラルブル
高島 敬子



(株)おもてなしフーズ
上原 けい子



(株)スタイルラボ
後藤 由紀子



セフティライフ(株)
小林 未和



(株)COCO de
長尾 啓子



(株)ヨコハマ
西尾 由紀子



関電不動産開発(株)
福本 恵美



西優(株)
井上 優香



幸せ腸セラピー協会
坂本 麻紀



テンバーセント(株)
平田 彩香

委員会活動報告

企画委員会 クリスマス会

2024年12月2日リーガロイヤルホテル総支配人中川様のお手配でリニューアルオープンのおールデイダイニング リモネ内 ラ ロンドにて第3回企画委員会、クリスマス会を開催しました。

美味しく素敵なお料理とクイズでプレゼントで楽しく盛り上がりました。



広報委員会 忘年会

2024年12月3日忘年会はクルージングディナー 暖かな日と夜景を楽しみました。



組織委員会 クリスマス会

2024年12月6日ダブルツリーbyヒルトン大阪城にて組織委員会とその同志が41名参加し大盛況な会となりました。



総務委員会 大阪・関西万博 夢洲視察及び懇親会

2025年4月13日開幕に先立ち11月27日大林組様のご案内での会場視察をいたしました。シンボルマークの大屋根リングは、世界が一つに集う場のイメージにふさわしく「清水の舞台」を彷彿させる圧巻でした。その後、竹葉亭で、美味しいお料理をいただきながら親睦を深めました。



編集後記

新たな委員会が発足し1年が経ちました。忘年会や数度の委員会が開催され会員相互の交流が深まってきたのを感じています。今後も各委員会の活発な活動を重ね、より一層交歓できることを期待しています。

広報委員